

マーチング活動の再開に向けたガイドラインについて

- ・ マーチングのために新たに作成するのではなく、5月25日に公表した「吹奏楽部の活動再開に向けたガイドライン」に、マーチング活動に関わる部分を追記して公表する。
- ・ 「吹奏楽部の活動再開に向けたガイドライン」の【活動再開後の具体的な吹奏楽活動を考える】の2の(3)の六つ目の◎を以下のように変更する。

◎ マーチングなど身体活動を伴う練習においては、特に臨時休業期間中の練習不足を考慮し、ウォームアップを十分に行った上で、以下のようなステップを考えて行う。練習内容を段階的に高めるとともに、熱中症の事故防止についても適切な措置を講ずる必要がある。

第1段階：楽器の個人練習ができる段階

(個々の動きを中心とした練習：楽器演奏なし)

- ・ 停止間動作や方向転換の練習，マークタイムの練習，インターバルの取り方，ドレス（整列）の仕方などの練習を中心とする。
- ・ L字やT字の練習を行う。
- ・ 複数で練習を行う場合は，十分に広い場所で2m以上の間隔を確保し，同じ方向を向き，声を出さずにカウントや音源の再生に合わせて行う。

(目標とする活動の例)

- ・ 個人のL字の動画を撮影して交流する。お互いに講評し合い，指導者の講評を受ける。

第2段階 楽器のパート練習ができる段階

(集団の動きも取り入れた練習：楽器演奏なし)

- ・ L字やT字の練習を，前後4歩(2.5m)以上，左右2歩(1.25m)以上の間隔を確保した上で同じ方向を向いて同時に行う。(声を出さずにカウントや音源の再生に合わせて行う)
- ・ コンビネーションの練習では，密集する動きやフォロワーリーダーなど，同じ動線をたどる動きは避ける。また，横の間隔は常に2歩以上，前後の間隔は4歩以上確保する。

(目標とする活動の例)

- ・ コンビネーションなど少人数グループの練習動画を撮影して交流する。お互いに講評し合い，指導者の講評を受ける。
- ・ 音楽に合わせたコンビネーションの発表会を行う。(保護者，関係者向け)
- ・ マーチング技能検定に挑戦する。

第3段階 楽器の合奏ができる段階

(集団の動きを取り入れた練習)

- ・ コンテの練習①(演奏なし，音楽に合わせて動く)
- ・ コンテの練習②(演奏あり，フルートは演奏不可)
- ※ 上記のいずれの場合も密集しないコンテを作成して行う。また，パレードやフォロワーリーダーなど，同じ動線を一定時間以上たどる動きは避ける。

(目標とする活動の例)

- ・ 生徒自作コンテのコンテストを行う。(全段階共通)
- ・ 記録動画で練習方法・活動の交流を行ったり，座談会などを行ったりする。(全段階共通)
- ・ マーチング演技を動画で発表する。
- ・ 地域のイベントに参加する。
- ・ 保護者，関係者向けの発表会を行う。

※ 動きの練習は，熱中症予防対策を十分に行った上で，屋外で行うことを推奨する。

※ 屋内では，換気を適切に行った上で間隔を2m以上開けることができれば，熱中症防止の観点からマスクを着用しないで練習を行うことを可とする。

※ 楽器の演奏をしながら動きの練習をする場合は，上記の注意に加えて楽器からこぼれ出る水滴の処理にも十分に配慮する。